

商工ジャーナル

SHOKO JOURNAL

10
OCTOBER

2016

特集 使える! 中小企業のM&A

今を語る 今泉今右衛門氏「時代に応える多様性で続く有田焼四百年」
新連載 トップのための経営講座「企業価値創造と対話による中小企業経営」(伊藤邦雄)
クローズアップ 「重力波天文学」の幕開け(竹内 薫)



MY
TREASURE

介助犬の訓練所



近畿介助犬訓練所では、現在、十分に訓練を積んだ7頭のラブラドルが「教官犬」として見本になり、飼い主と飼い犬に対して訓練を行っている。「さらにiPhoneやiPadなどとWiFiカメラを接続し、寝たきりのお年寄りでも、離れた場所からでも、介助犬に指示を出せるシステムも研究開発しています」と言う。

私の宝物

(株)レザック取締役会長

柳本忠二氏

- 昭和19年9月生まれ。和歌山県かつらぎ町出身
- 昭和39年 菱屋木型製作所（現株菱屋）を設立
- 昭和57年 (株)レザック設立、代表取締役社長
- 昭和61年 (株)アイ・ティー・エム設立、代表取締役社長
- 現在、アイ・ティー・エム代表取締役社長、(株)レザック取締役会長、(株)菱屋取締役会長を務める。NPO 法人近畿介助犬訓練所理事長、(一社)大阪市産業経営協会評議員委員長
- ◆平成22年 紺綬褒章受章

「私の人生最後の大事な仕事と思って取り組んでいます」と柳本会長は使命を語る。

「私の人生最後の大事な仕事と思って取り組んでいます」と柳本会長は使命を語る。

「私の人生最後の大事な仕事と思って取り組んでいます」と柳本会長は使命を語る。

大阪府八尾市で抜き型用各種加工機を製造する(株)レザック。同社の柳本忠二会長は、介助犬の訓練を手掛けている。

「かつては警察犬の訓練や繁殖を趣味として手掛け、競技会のチャンピオン犬も数頭、育成しました。認知症の義母にその犬を会わせたところ、症状が落ち着いてきました。犬には心を癒やす力があります。家庭の犬に介助動作を覚えさせれば、もっと高齢者や障がい者のお役に立てると介助犬育成を思い立ちました」

同社工場は平成十七年に天皇皇后両陛下の行幸啓を賜る。柳本会長はそれを画期に、会社経営から軸足を移し始めた。平成二十一年に奈良市の自宅に隣接して開設したNPO法人近畿介助犬訓練所では、飼い主と飼い犬に対して、物を取ってきて渡す、上体を起こすのを助ける、散歩に付き添う、人を呼んでくるなどの介助動作を行えるよう訓練を施す。

